

Green Campus

2013.09

49



発行：高崎商科大学 高崎商科大学大学院 高崎商科大学短期大学部

〒370-1214 群馬県高崎市根小屋町741 TEL (027) 347-3399(代) FAX (027) 347-3389 <http://www.tuc.ac.jp>

PCD プロフェッショナル キャリア ディベロップメント バイリンガルプログラム始動!

6月29日から7月1日にかけて、PCDバイリンガルプログラムを履修している学生3名が福島県にあるブリティッシュヒルズ※において国内英語研修を行いました。同研修には、短期大学部のホテル・観光・ブライダルコースの学生6名も『国内英語研修』の授業の一環として参加しました。

研修は全て英語で進められ、基本的な英語の復習から始まり、実践的な英会話の練習まで多岐に亘りました。



た。参加した学生も当初は英語だけの講義に苦戦している様子

でしたが、1日目が終わる頃にはそれぞれが目標を設定し、講義の間の自由時間には各自がネイティブスピーカーと積極的に英会話を楽しんでいました。最終日の帰りのバスに乗り込む際には、講義を担当していただいた講師の方と英語で会話をする場面もあり、英語についての意識が大きく向上した研修となりました。

※ブリティッシュヒルズは英語を公用語とするホテルを兼ねた研修施設で、英会話だけでなく、英国のマナーや習慣なども同時に学ぶことが出来る。



Haul-A ホールエー プロジェクト 夏合宿実施

本学が強力に推進している高大連携事業「Haul-A (ホールエー) プロジェクト」の夏合宿が8月7日から9日までの2泊3日で実施されました。青森から鹿児島まで全国各地の協定校21校から生徒55名、教員23名が参加しました。

合宿では日商簿記1級の合格を目指して合同の勉強会が行われたほか、公認会計士合格者を多数輩出している小島一富士先生による講義・講演も行われました。また、協定校の先生方に対する情報提供も行われ、生徒の将来を広げるための真の意味での高大連携が図られました。

Haul-Aプロジェクトは商業科高校生の「簿記会計を通じて自分らしく地域社会に貢献したいという夢と希望」を実現することを目的としており、その具体的な事業として「日商簿記1級プロジェクト」が立ち上げられました。



目次

- 01 PCDバイリンガル、Haul-Aプロジェクト
- 02 体育祭、PCD考房増設、洋式トイレ改修、PCルームリニューアル、資格取得状況、「地(知)の拠点」採択報告
- 03 後期公開講座紹介、オープンキャンパス情報、入試情報
- 04・05 平成24年度決算報告
- 06 教員紹介 大沼博靖先生、お知らせ(人事異動)
- 07 キャリアサポート室から
内定者コメント(吉田雅章さん、大澤仁美さん)
- 08 彩霞祭情報、同窓会情報

体育祭が行われました



今年度の新入生の歓迎と在学生の交流を目的とした体育祭を5月29日に実施しました。体育祭は学生会が主催しており、今年度は昨年までの新入生歓迎競技会とは大きく変更となり、昨年まで行っていた球技などに代わって、10人11脚・綱引き・借り物競争・大縄跳びの競技で親睦を深めました。参加はゼミ単位や、有志のグループでの参加となっており、当日は小雨の降る生憎の天候の中、大学生と短大生が入り乱れての大いに盛り上がるイベントとなりました。教員も学生の応援に駆け付け、普段とは違う教員との関わりを持つことができました。また、競技外でも学内のいたるところで学生同士、学生と教員が交流している様子が見られました。



PCD考房が大幅拡充されました



本学で積極的に推進しているPCDプログラム。プログラムを受講する学生の学習を支援するため、自習室を大幅に拡充しました。全席個別の学習スペース

スにはPCが完備され、授業の合間など、時間を有効に活用できる環境が整いました。また、PCD公務員プログラム専用の学習室も設置され、PC完備の個別ブースのほか、演習用にグループ学習ができるスペースが設けられています。



学内トイレの洋式化

洋式トイレの数を増やしてほしいとの要望を受け、昨年度より進めていた改修工事が今年度も引き続き進められています。昨年度、学内設置トイレの46%（洋式48台／全体104台）を洋式化しましたが、今年度はさらに12台を洋式トイレに改修することで全体の58%をまで設置比率を高める計画です。

2号館PCルームがリニューアル

2号館に設置されていたPCルームがリニューアルされました。以前はアップル製PCが設置されており、画像処理などの専門性の高い授業で使用されていましたが、今回のリニューアルでWindows PCが導入され、より多くの学生に利用しやすい環境が整いました。



日商簿記1級合格!

第134回日商簿記検定の1級に商学部4年生の高橋綱貴さんが合格しました。

高橋さんは今年の1月上旬から試験対策を始め、初めての挑戦で合格となりました。まったくの初心者からの挑戦でしたが、1日に5～8時間の勉強をこなすのは特に苦に感じなかったそ

うです。現在は税理士試験に向けて対策を進めている最中で、卒業後は税理士法人への就職を目指しています。今回の合格を受け、「高校時代と大学の初めまでは勉強から逃げていました。私の高校は商業系ではなく、簿記についてはいちから勉強を始めましたが、巻き返しはできると感じました。自分の好きなものを見つけることが大事だと思います。」とコメントしました。



高橋綱貴さん

「地(知)の拠点」採択報告

文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」において、本学が申請した『「地と知から(価)値」を創出する地域密着型大学を目指して』が採択されました。

本事業には全国大学・短大・高専から319件の応募があり、52件が採択されました。

私立大学では16校が採択され、群馬県内では本学のみが採択となりました。

本事業は、自治体と連携して全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学などを支援する事業であり、今後は地方自治体と連携し地域再生・活性化を図りつつ、本学の教育カリキュラム・教育組織の改革に取り組んでいきます。

平成26年度採用群馬県公立学校教員第一次試験に本学学生が合格!

7月14日に行われました、平成26年度採用群馬県公立学校教員第一次試験に本学商学部4年生の松田瑠美さんが合格しました。松田さんは本学の教職課程を履修しており、昨年の松田雄真君に続き、2年連続で合格者を輩出することができました。同試験は、330名程度の募集人員に対し、1,300人以上が応募をしており、4倍を超える倍率を誇る難関試験となっております。同二次試験は8月に行われており、結果は10月に発表される予定となっております。

第3回 工女検定 初級が行われました

7月20日(土)、本学で「第3回工女検定初級」を実施しました。同検定は富岡製糸場についての幅広い知識を問うものです。「地域創造」の授業などで富岡製糸場について学んできた学生の皆さんが日頃の学習の成果を試す場所でもあり、授業を履修していない学生の皆さんには新たに富岡製糸場について学んでもらうきっかけになることを狙いとしています。今回は、外部受験者3名と学生49名が40分間に100問を解答する試験に挑戦し、本学の学生1名を含む3名が合格しました。



国際・地域交流 センターの活動

開設5年目に入った今年は、これまでの連携実績を基に体系的・組織的な連携を展開するため、次の3つを活動目標を掲げました。

第1は、上信電鉄沿線自治体や上信電鉄との連携プロジェクトの推進、第2は、教職課程とのコラボによる学習・部活動・学園祭を支援する学生ボランティアの派遣、第3は、教職員や学生の地域イベントへの参加と地域の皆様の公開講座や学園祭等への参加による双方向交流の促進です。

後期に行われる公開講座をご紹介します

たします。皆様のご参加をお待ちしております。

後期公開講座 スケジュール紹介

◎『笑いのコミュニケーション学』

日時:10月19日、11月2日
土曜日(2回) 10:30~12:00
場所:321教室
受講料:1,000円(2回)
定員:50名
受付開始日:受付中
講師:瀬沼文彰氏
(西武文理大学 兼任講師)

◎『温泉宿をとおして見る ホントのサービス』

日時:11月2日、9日 土曜日
(2回) 13:30~15:00
場所:321教室
受講料:1,000円(2回)
定員:50名
受付開始日:10月1日
講師:坂本章氏
(高崎商科大学商学部 准教授)

◎『あなたもストレスに強くなれる』

日時:11月9日、16日 土曜日
(2回) 10:30~12:00
場所:321教室
受講料:1,000円(2回)
定員:50名
受付開始日:10月1日
講師:高橋修氏
(高崎商科大学短期大学部 学科長)

◎『現代の医療制度について』

日時:12月7日 土曜日
13:30~15:00
場所:321教室
受講料:500円
定員:50名
受付開始日:11月1日
講師:下田順子氏
(高崎商科大学短期大学部 特任講師)

◎『仕事に活かす傾聴講座』

日時:12月14日 土曜日
13:30~15:30
場所:237教室
受講料:500円
定員:21名
受付開始日:11月1日
講師:大井宗太郎氏
(高崎商科大学短期大学部 兼任講師)

◎『地域連携講座 身近な獣たち』

日時:10月19日、11月30日
土曜日(2回) 13:00~14:45
第3回 山里に出現する獣、
外来種の問題
第4回 コウモリの生態について
場所:222教室
受講料:無料
定員:50名
受付開始日:受付中
講師:第3回 姉崎智子氏
(県立自然史博物館)
第4回 清水孝頼氏
(エコクラブ)
※第1回、第2回は終了致しました。

【参加申し込み方法】

メールもしくはFAXをご利用の場合は、以下の必要事項をご記入の上お申し込みください。お電話の場合は担当者が以下の内容をお伺い致します。

- ①ご希望の講座名
- ②参加者のお名前(フリガナ)
- ③ご住所・郵便番号
- ④日中のご連絡先

【参加申し込み先】

高崎商科大学 国際・地域交流センター
TEL:027-347-3399
FAX:027-347-3389
E-mail:koukai-kouza@uv.tuc.ac.jp

※講座内容等に変更のある場合は、本学ホームページにてお知らせ致します。講座内容や実施会場についてもそちらでご紹介しておりますのでご覧ください。

入試を受けませんか？

高崎商科大学では、以下のメリットを持った『スカラシップ入試』を行っています。

- ①検定料が半額(一般入試が30,000円のところ、15,000円で受験可能)
- ②年内に合格発表。手続は2月(普通合格、B・C特待生)又は3月(A特待生)まで
- ③地方会場で受験可能(地方会場*を6会場用意しています) ※仙台・新潟・宇都宮・長野・東京・郡山

出願期間 2013年11月29日(金)~12月13日(金)

試験日 2013年12月18日(水)

合格発表 2013年12月25日(水)

入学手続期間 2013年12月25日(水)~2014年3月22日(土) -A特待生該当者

2013年12月25日(水)~2014年2月22日(土) -普通合格者(B・C特待生を含む)

オープンキャンパス 告知

10:30(受付開始) 11:00~15:30

高崎駅から無料送迎バス運行



参加者全員にSHODAI合格福袋プレゼント!

第7回 11/16(土)「専門家が語る!センター試験得点アップ術」

平成26年1月18日(土)、19日(日)はセンター試験ですが、センター試験ならではのコツやテクニックが存在します。センター試験の専門家を招き、マル秘情報を皆さんに伝授。また、本学独自のセンター利用入試についてもご説明します。

平成24年度決算報告

学校法人 高崎商科大学

平成24年度決算につきましては、平成25年5月29日開催の理事会にて承認され、同日開催の評議員会に報告されました。現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き「正常状態」に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の充実に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成24年度の資金収支状況について、収入は合計で4,952,319千円となり、学生生徒等納付金収入、補助金収入及び雑収入等で増加したものの、手数料収入、寄付金収入、資産運用収入、事業収入等が減少したことで、予算に対しては57,018千円の減収となりました。

一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次年度繰越支払資金は予算に対し39,487千円増加し、2,330,830千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,475,855,780	1,475,908,550	△52,770	人件費支出	1,210,899,419	1,209,310,912	1,588,579
手数料収入	55,010,000	53,986,680	1,023,320	教育研究経費支出	467,266,840	461,739,738	5,527,102
寄付金収入	19,185,000	19,176,864	8,136	管理経費支出	140,344,075	131,519,687	8,824,388
補助金収入	546,430,125	548,025,325	△1,595,200	借入金等利息支出	4,484,855	4,484,855	0
資産運用収入	21,969,000	21,608,619	360,381	借入金等返済支出	27,770,000	27,770,000	0
資産売却収入	250,525,000	250,525,000	0	施設関係支出	340,374,449	335,251,949	5,122,500
事業収入	11,590,000	10,592,561	997,439	設備関係支出	54,405,029	51,690,291	2,714,738
雑収入	36,380,500	36,593,228	△212,728	資産運用支出	402,070,000	402,070,000	0
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0	その他の支出	44,204,334	15,598,951	28,605,363
前受金収入	258,849,000	255,198,500	3,650,500	〔予備費〕	44,908,686		44,908,686
その他の収入	238,108,037	203,812,562	34,295,475	資金支出調整勘定	△18,733,560	△17,947,020	△786,540
資金収入調整勘定	△265,038,750	△283,582,405	18,543,655	次年度繰越支払資金	2,291,343,437	2,330,830,065	△39,486,628
前年度繰越支払資金	2,060,473,944	2,060,473,944		支出の部合計	5,009,337,636	4,952,319,428	57,018,208
収入の部合計	5,009,337,636	4,952,319,428	57,018,208				

②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態を明らかにし、これにより経営状況を把握するための書類です。

(企業会計の損益計算書に類似していますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。)

平成24年度の帰属収入合計は、予算に対して2,923千円増の2,170,913千円となりました。また、基本金組入額は、予算に対し7,927千円減の118,448千円となりました。この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比10,850千円増の2,052,465千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対し37,365千円減の1,991,109千円となりました。

これらの結果、平成24年度の消費収支差額(=消費収入-消費支出)は、61,356千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額の346,846千円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、408,202千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,475,855,780	1,475,908,550	△52,770	人件費	1,218,481,491	1,216,892,912	1,588,579
手数料	55,010,000	53,986,680	1,023,320	教育研究経費	620,196,840	614,446,354	5,750,486
寄付金	19,825,000	19,565,383	259,617	管理経費	147,785,666	138,959,848	8,825,818
補助金	542,726,775	548,025,325	△5,298,550	借入金等利息	4,484,855	4,484,855	0
資産運用収入	21,969,000	21,608,619	360,381	資産処分差額	9,315,007	9,315,3007	0
資産売却差額	525,000	525,000	0	徴収不能額	7,009,700	7,009,700	0
事業収入	11,590,000	10,592,561	997,439	〔予備費〕	21,200,385		21,200,385
雑収入	40,488,320	40,701,048	△212,728	消費支出の部合計	2,028,473,944	1,991,108,676	37,365,268
帰属収入合計	2,167,989,875	2,170,913,166	△2,923,291	当年度消費収入超過額	13,140,853	61,356,225	
基本金組入額合計	△126,375,078	△118,448,265	△7,926,813	前年度繰越消費収入超過額	346,845,741	346,845,741	
消費収入の部合計	2,041,614,797	2,052,464,901	△10,850,104	翌年度繰越消費収入超過額	359,986,594	408,201,966	

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成24年度末の資産総額は、10,028,764千円で前年度末に比べ486,600千円増加しました。また、負債総額は、983,385千円で前年度末に比べ306,795千円増加しました。資産の部は、有形固定資産が206,113千円の増加、その他の固定資産が16,825千円増加し、固定資産全体では7,618,985千円となり前年度に比べ222,938千円増加しました。また、流動資産は2,409,779千円で前年度に比べ263,661千円増加しました。負債の部は、固定負債が640,631千円で前年度に比べ274,208千円の増加、流動負債は342,753千円で前年度に比べ32,587千円増加しました。基本金の部は、合計で8,637,177千円となり、前年度に比べ118,448千円増加しました。

これらの結果、消費収支差額は前年度に比べ61,356千円増加し、翌年度繰越消費収入超過額は408,202千円となりました。なお、資産総額から負債総額を差し引いた正味資産は9,045,379千円で、前年度に比べ179,804千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,618,985,234	7,396,046,739	222,938,495	固定負債	640,631,290	366,422,730	274,208,560
有形固定資産	6,157,601,497	5,951,488,468	206,113,029	長期借入金	522,160,000	249,930,000	272,230,000
土地	2,470,403,047	2,470,350,469	52,578	退職給与引当金	118,097,385	114,623,205	3,474,180
建物	2,644,990,037	2,709,011,732	△64,021,695	長期未払金	373,905	1,869,525	△1,495,620
建物附属設備	131,278,619	104,205,335	27,073,284	流動負債	342,753,474	310,166,878	32,586,596
構築物	189,347,129	201,351,068	△12,003,939	短期借入金	27,770,000	27,770,000	0
教育研究用機器備品	96,622,606	112,119,413	△15,496,807	前受金	255,198,500	226,722,750	28,475,750
その他の機器備品	5,520,820	6,947,696	△1,426,876	その他	59,784,974	55,674,128	4,110,846
図書	334,340,756	333,481,917	858,839	負債の部合計	983,384,764	676,589,608	306,795,156
車輛	11,231,483	7,175,838	4,055,645	基本金の部			
建設仮勘定	273,867,000	6,845,000	267,022,000	科目	本年度末	前年度末	増減
その他の固定資産	1,461,383,737	1,444,558,271	16,825,466	第1号基本金	8,444,240,542	8,326,792,277	117,448,265
有価証券	1,197,487,000	1,197,487,000	0	第3号基本金	49,936,631	48,936,631	1,000,000
退職金引当預金	147,000,000	147,000,000	0	第4号基本金	143,000,000	143,000,000	0
第3号基本金引当資産	49,936,631	48,936,631	1,000,000	基本金の部合計	8,637,177,173	8,518,278,908	118,448,265
特定支出引当特定資産	25,070,000	21,000,000	4,070,000	消費収支差額の部			
その他	41,890,106	30,134,640	11,755,466	科目	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,409,778,669	2,146,117,518	263,661,151	翌年度繰越消費収入超過額	408,201,966	346,845,741	61,356,225
現金預金	2,330,830,065	2,060,473,944	270,356,121	消費収支差額の部合計	408,201,966	346,845,741	61,356,225
その他	78,948,604	85,643,574	△6,694,970	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部合計	10,028,763,903	9,542,164,257	486,599,646	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	10,028,763,903	9,542,164,257	486,599,646

教員紹介コーナー

高崎商科大学短期大学部 特任講師 大沼博靖先生

プロフィール

1967年北海道生まれ。順天堂大学大学院体育学研究科修了後、株式会社ベースボール・マガジン社にて編集・宣伝業務に従事。2007年6月に退職し、青山学院大学総合研究所 eラーニング人材育成研究センター、同大学ヒューマン・イノベーション研究センターにて客員研究員。



欠点を利点に変える柔軟思考の大切さ

Green Campusの原稿を依頼され、バックナンバーをサンプルとして拝見したのですが、生来負けず嫌いの性格なのか、「人とは違ったテイストで書きたい」という思いがフツフツとわき上がってしまいました。以前は編集者をしてきたため、人の話を聞いてまとめることは苦にならないのですが、いざ自分のこととなるとなかなか筆が進まないものです（実際にはキーボードを打つ手が止まるのですが…）。

人とスポーツの関係は、①スポーツを楽しむ、②スポーツを観る、③スポーツを支えるという3つに大別されます。私は、1993年の3月に順天堂大学大学院体育学研究科を修了後、14年間に渡り株式会社ベースボール・マガジン社というスポーツ系出版社で、主に編集者として仕事をしてきました。先の3つの括りに当てはめれば、3つ目のスポーツを支える立場に身を置いていたことになります。

仕事柄、様々な人たち取材してきました。かつての巨人のエースで、現在は東大野球部の特別コーチもされている桑田真澄氏には、まだ桑田氏が200勝ペースを維持している頃にお話をうかがいました。当時から非常に論理的でクレバーな印象を受けたことを覚えています。プロ野球のドラフト会議の司会を長らく務めたことでも有名な、“パンチョ”こと伊東一雄さんと一緒に仕事をさせていただきましたが、面倒見のよい気遣いの行き届いた方でした。

彼ら以外に影響を受けた方はたくさんいらっしゃいました。かつて阪神の4番打者であった掛布雅之氏もその1人です。月刊メジャー・リーグという雑誌の編集部時代、メジャー・リーガーの連続写真解説の担当になりました。打撃解説は、40枚近い連続写真の中から12枚を選び解説してもらうのですが、前出の掛布さんの解説は実に興味深いものでした。打撃において、バットを握るグリップの位置が低いというのは、セオリーから見れば悪い見本になります。その点を指摘するのかと予想していたのですが、予想は見事に覆されました。

「予めグリップを低くしておけば、次の動作は（グリップを）上げる以外にないでしょ…」と解説してくれました。欠点を欠点として修正するのではなく、それを逆手に取って利点にするという考え方は、思いもよらないものでした。これってスポーツ以外の分野でも十分にあり得る話ではないでしょうか。欠点と感じているものであっても、少しだけ視点を変えるだけで欠点ではなくなり、むしろ武器にさえ成り得るのです。

誰にだって欠点があります。そんな時に「どうやって直そう」と考えるのではなく、これを利点に変えるには何が必要なのか、そんな柔軟な思考を持つように心がけてみてはいかがでしょうか。欠点の周辺には意外なほど利点へと転換するエッセンスが転がっているものです。

*ちなみに写真は本文は関連がありません。普段は育児をしていることをご理解いただければ幸いです（笑）。



人事異動

【教員】 **新任** 孫 榮 振 **退任** 根 岸 可 奈 子

【職員】 森 本 圭 祐 教学課課長（キャリアサポート室長兼務）
 羽 場 史 彦 教学課課長代行からコミュニティ・パートナーシップ・センター設置委員会 事務長
 藍 正 弘 学生支援・総務グループ長からキャリアサポート室長補佐
 遠 藤 康 生 教育・学習支援グループから学生支援・総務グループ長
 有 坂 祐 輔 学生支援・総務グループ（学生担当）から教育・学習支援グループ（教務担当）

キャリアサポート室から

■ 今年の就職状況について

いよいよ後期授業が始まり、就職活動も追加募集と中堅・中小企業中心の後半戦です。大学4年・短大2年生の就職状況は、昨年度と比べやや良い状況です。求人数も伸びを見せており、特に金融業界と小売・卸売等の流通業界は昨年度を上回る求人数です。

今年からは月1回のグループディスカッション講座や他大学と合同の就活講座、業界研究講座など、多くの新しい取組を導入しています。大学3年・短大1年生はこれらの講座に積極的に参加し、これから始まる就職活動の準備を行いましょ。大学4年・短大2年生は即効性のある面接対策講座やマンツーマン面接練習などを有効に使い、後半戦も粘り強く活動してもらいたいと思います。不安のある学生は、どんな質問、相談でも構いませんので、是非キャリアサポート室を利用してください！

内定者コメント

『私の就職活動について』

吉田 雅章さん (高崎商科大学 4年)
内定先：アイオー信用金庫



私は2013年6月に地元の金融機関から内定を頂き、就活を終えました。

私が就活を始めたのは12月からでした。その前から学内の就活講座やゼミで履歴書の対策をするなど、就活のノウハウを学んでいました。

実際に就活がスタートすると現実は甘くないと痛感しました。それは様々な企業を受けては落とされていたからです。私自身、就活を始めた頃は自分が何がしたいのか、どうなりたいのか曖昧な気持ちのまま、面接に行っては失敗の繰り返しでした。そこで、再度自己分析をし、自分の就活の軸を探しました。そして自己分析で探した自分の過去の経験や今後やりたいことの軸を目安に、企業を探しては説明会に行きました。前よりもより一層受ける企業について深く調べました。その結果、就活を始めた当初は1次面接で落ちてばかりでしたが、面接が通るようになり、最終的には2社から内定を得ることができました。

就活は良いことだけではありません。しかし、諦めず、次の1歩を踏み出すことが大切だと思います。また大学の先生方やキャリアサポートの人達の支えは大きい物だと感じました。これから立派な社会人になるために頑張りたいと思います。

■ 面接試験 WishからWillへ

～入試と就活の違い～

今回は面接の話しをしましょう。面接はとても重要な選考過程であり、就職活動の「本番」と言えます。採用試験は大きく分けて3つあります。書類選考、筆記試験、そして面接試験です。通常は書類、筆記、面接の順で行われるケースが殆どです。これは書類と筆記の結果で、ある程度のレベルを確保し、面接で最終決定するという事です。つまり面接の出来次第なのです。

学生の皆さんは大学入試において面接を経験していると思います。敬語やマナーなどの基本は同じなのですが、決定的に違うところがあります。それは、意識・意欲の部分です。WishではなくWill、つまり「～がしたい」ではなく、「～をします」というより強い気持ちを求められるのです。何故でしょうか。それは入る場所の性質が違うためです。「お金を払って入るところ(学校)」と「お金をもらいに入るところ(企業)」です。学生の皆さんは大学生活でこの全く逆の立場になる準備をしなければならないのです。そのためには日頃から社会に対する意識を高める必要があります。アルバイトやインターンシップも良い経験になるでしょう。何より大人と話しをする機会を多く設けることが意識向上につながり、良い面接の練習にもなると思います。

『私の就職活動について』

大澤 仁美さん (高崎商科大学短期大学部 2年)
内定先：株式会社プリオコーポレーション



私が就職活動は周囲より1歩遅れてスタートしました。県内にあるホテルで約2ヶ月間にわたってインターンシップに参加している最中の12月下旬からです。1年次から就職講座に参加し、就きたい職種も決まっていたのですが、正直、就職活動に真剣に向き合っていませんでした。インターンシップが週5日間ある中、就職活動に費やせる日が2日間しかなく、企業に提出する履歴書も枠を埋めれば良い程度に考えていたため、活動がうまくいくはずありません。このままでは時間とお金の無駄だと考え、キャリアサポート室に通い書類や面接の指導を受けました。自分の悪かった点はきちんと見直し、良かった点は活かそうと今までの活動を振り返りました。

書類選考、人事課による1次選考、グループワーク、役員による3次選考、副社長による4次選考を経てずっと憧れていたプライダル業から内定を頂きました。内定先企業は高校2年からお世話になっているアルバイト先でもあり、4年制大学しか採用していないところを熱意を伝えてお願いし、説明会に参加させて頂いたという経緯があります。

私が内定を頂けたのは、キャリアサポート室の皆さんはもちろんのこと、家族や友人のおかげだと思っています。今しかできないことはたくさんありますが、就職活動も今しかできません。色々な方と関わる中で多くの考え方に触れながら、是非楽しんで就職活動をしてください。

◆ 彩霞祭情報 ◆

10月26日(土)

- 11:00~12:00 ミスコン
- 12:30~13:30 ヒーローショー
- 14:00~15:00 ビンゴ大会

10月27日(日)

- 11:00~12:00 アコースティックライブ (ゲストあり)
- 12:30~13:30 イントロクイズ
- 14:00~15:00 女装コンテスト
- 16:30~ 芸能人スペシャルトークショー

イベントスケジュールは予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください

▶ 第24回 彩霞祭ポスター



今年の彩霞祭は、恒例の女装コンテストに加え、女の子にスポットを当てたミスコンも開催します！
女の子になりきる男の子、本物のかわいい女の子をご覧ください(^ω^)
他にも、気軽に楽しめるイベントが盛りだくさん！
ぜひ、ご家族でいらしてください♪ヽ(´▽`)/

お問い合わせ先

彩霞祭実行委員会実行委員室ダイヤルイン
TEL (027) 347-9343

彩霞祭公式HP(PC)

<http://saika.shouka.info/>

E-mail:saikasai-sogo@shouka.info



◆ 同窓会情報 ◆

卒業生、在校生のみなさま、今年の夏はどのようにお過ごしでしたでしょうか？群馬県館林市は毎日のように暑い日が続いていました。私の近隣の熊谷市でも連日37度の気温で非常に暑苦しい毎日でした。最近では地元埼玉では竜巻の被害が多発しており非常に恐ろしいニュースが世間を騒がしております。9月16日の台風では熊谷、行田そして群馬のみどり市でも突風による被害がでました。みなさんも命を守るような対策をとってくださいね。



同窓会長 程塚 守 さん

でも同窓会は熱く活動しております。今年も昨年に続きまして商大在學生と交流をはかりたいと、学生会、彩霞祭実行委員の方たちと交流会を開催いたしました。いろいろと話をしましたが、僕らの時代よりも熱いものを感じました。今年はいろいろと地域と大学とのふれあいを考えているような感じがしました。これからは地域活性にも熱く活動してください。同窓会もバックアップいたしますよ！

昨年導入した新制度ですが、単年度の卒業生の方たちに同期会事業を手助けしたいと予算のバックアップを少しですが始めました！詳しいことは同窓会ホームページをごらんください。

そして今年も彩霞祭の初日10月26日に（エテルナ高崎）でホームカミングデーを開催いたします。今年も楽しい企画で皆様のご参加をお待ちしております。お友達をお誘いの上ふるって参加してくださいね！彩霞祭では今年も同窓会のブースを設け、メモリアルコーナーを設置いたします。昔の自分や友人などを懐かしんでみてはいかがですか！ぜひ見に来て下さい。昼間は大学で楽しみ、夜はホームカミングで楽しんでみてはいかがですか！

そして第5回同窓会会長杯ゴルフコンペを11月23日にローズベイクントリークラブで開催いたします。昨年もローズベイクントリークラブで開催し、世代の違う同窓生同士で楽し

いひと時を過ごすことができました。初めての方でも大歓迎いたします。お友達をお誘いの上ふるってご参加ください。

在校生、卒業生のみなさん、何かご意見等ありましたらドシドシお声を寄せて下さい。商科大学のためにこれからの同窓会も熱く活動していきます。

□ ホームカミングデーのご案内

今年のテーマは、“同窓生や先生方との交流会”です。お料理&スイーツのバイキングと飲み放題のお酒&ドリンクを楽しみながら、大学時代の思い出や近況を語り合いませんか♪毎年好評の、豪華賞品が当たる抽選会もあります★ぜひ、お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

今回も会費無料のラッキーイヤーを設けました。今年のラッキーイヤーは、2013年3月卒業のみなさまです。大勢のご参加をお待ちしております。

開催日：2013年10月26日(土) 午後7時から(午後6時40分受付)
場所：エテルナ高崎

(高崎市栄町22-30 TEL 027-323-1122)

会費：3,000円

申込方法：同窓会事務局まで電話またはメールにてご連絡下さい。
※尚、当日の参加も歓迎いたします。

□ 第5回 同窓会会長杯ゴルフコンペのご案内

開催日：2013年11月23日(土)

場所：ローズベイクントリークラブ

集合時間：午前9時

費用：参加費 / 2,000円

プレー費 / 12,000円

競技方法：新ベリア方式

申込方法：同窓会事務局まで電話またはメールにてご連絡下さい。

同窓会ホームページ：<http://www.tuc.ac.jp/dousou/>
同窓会facebookページ：
<https://www.facebook.com/tuc.dosokai>

連絡先：TEL 027-347-3399・Mail endo@uv.tuc.ac.jp
担当：遠藤(えんどう)